



令和6年 12月発行

中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当: 塚原

〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2

TEL: 0575-33-4011 (内線210)

郡上市明宝地域 乳幼児家庭教育学級 ひよっこクラブ 親子で手打ちうどん作り体験 ～伝統食を作り、日頃の食事について振り返ろう～

郡上市の乳幼児学級「ひよっこクラブ」では、11月5日(火)に家庭教育学級「親子で手打ちうどん作り体験」が開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

郡上市明宝地域では「食えることを大切にできる子どもの育成」をテーマに、乳幼児から中学生を対象に食育に力を入れています。

その一環として、今回は親子一緒に明宝地域の伝統食であるうどんを作り、食育のお話を聴きながら美味しくいただくことで、日頃の食事の振り返りや、コミュニケーションを深めていただくため開催しました。



【当日の様子】



講師は、「民宿しもだ」の下田葉子さんです。



親子一緒に、うどんの生地を足で踏んでこねます。



麺棒を使って、生地を薄く伸ばしていきます。



麺包丁で丁寧に切り、うどんらしくなってきました。



いろいろな太さのうどんが出来上がりました。



うどんを茹でながら、野菜いっぱいの出し汁を作りました。



野菜や油揚げなどが入った具だくさんの「手打ちうどん」と、子どもたちがおやつ感覚で食べられる「大根もち」が出来上がりました。お待ちかねの食事タイムでは、講師の下田さんの食育の話聞きながら、保護者の皆さんが交流されました。

【参加者の感想】

- ・初めてうどんを作りました。こねて伸ばして「楽しい気持ち」、美味しく食べて「嬉しい気持ち」を子どもやお母さんたちと共有できる有意義な時間となりました。
- ・うどんは家族みんなの大好物です。作り方を知らなかったのも、体験できる貴重な機会をありがとうございました。母親同士の会話も、とても楽しかったです。
- ・材料がシンプルで作り方も簡単だったので、子どもが歩けるようになったら、是非一緒に作りたいです。
- ・大根もちも美味しかったので、家でも作ってみます。



調理中は、地域の方々が託児ボランティアをしてくださったおかげで、安心して活動することができました。

【主催者の感想】

コロナ禍ですっとできなかった調理体験を、今年度は多く取り入れてみました。普段、自宅ではなかなかできない体験をしていただき、作ることの楽しさなどを体験していただけたのではないかと思います。今回の体験を通して、家庭でもぜひ親子で食事づくりを実践していただきたいと思います。

【取材を終えて】

「私たちは近所に同世代の友だちがいないため、このひよっこクラブが、親子共に友だち作りの大事な場となっているのですよ。」参加された保護者の皆さんの言葉です。

今後も、乳幼児学級の楽しい活動を通して、皆さんのコミュニケーションをさらに深めていただきたいと思います。



親子でインターネット利用講習会



～ネットはあなたを守ってくれない！～

関市立金竜小学校では、11月15日（金）の参観日に合わせ、6年生の親子を対象にした家庭教育学級の一環として、インターネット利用講演会が開催されましたのでご紹介します。



【開催の目的】

スマホを持っている子どもたちやこれから持つ子どもたちに、インターネットの正しい利用方法や危険性について、保護者と一緒に考えていただこうと計画しました。

【講演会の概要】



＜講師＞ 関市教育委員会 まなびセンター
ICT支援員 遠藤 和弘 氏

＜講演名＞ 「ネットはあなたを守ってくれない！」

＜講演内容＞

1 写真投稿について

人の姿や顔には、肖像権がある。

「無断で撮影されない権利」「無断で公表されない権利」

写真が流出したら、消したくても完全に消すことはできない。



外部に流出することを認識（覚悟）して投稿することが大切である。

2 スマホを使った自転車のながら運転について

改正道路交通法（令和6年11月1日施行）

3 ネット動画について

ネット動画を見る時間と学力には相関関係がある。

4 ネット依存について

「ネットの社会はあなたを守ってくれない。相談は何人かのリアルな大人にすること」

本日の内容

【写真を撮ったり、投稿したりすると・・・】

【自転車に乗る時に、・・・すると・・・】

【ネット動画を見ていると・・・】

【わたしが、ネット依存???】

インターネット依存 ゲーム依存・スマホ依存・SNS依存

勉強や仕事といった生活面や

体や心の健康面などよりも

インターネットの使用を優先してしまい、
使う時間や方法を

自分でコントロールできない状態

引用 国立病院機構 久里浜医療センター

ネットの社会は、あなたを 守ってくれません！

だから、

よく考えて、落ち着いて行動する。

分からないことがあったり、困ったり、悩んだりしたら

1人では判断しない、1人で行動しない。

何人かのリアルな人に相談する。

やめる時にやめることができるか、常にチェック。

【当日の様子】

当日の講演会には、6年生児童124名と、保護者44名が参加されました。

遠藤講師からの質問や問いかけに、子どもたちも積極的に挙手・発言するなど、たいへん熱心に受講されました。

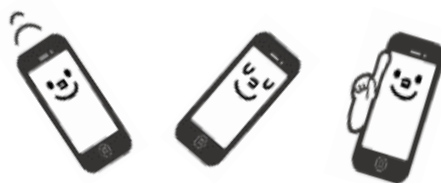


【参加者の感想】



- ・子どもと一緒に講演会に参加したことで、家族で会話をするきっかけができたことがありがたかったです。私も内容を知っていることで、我が子は「やばいな～」と思ったはずですが、私が情報に疎いのでお話を聞いてよかったし、親子共々、今後の生活を改善していく必要があるなど実感できた講演会でした。
- ・後ろに保護者がいることを忘れて素直に反応する子どもたち・・・可愛いけれど、その純粋さゆえにネットで簡単にだまされてしまう可能性が高いのだらうなと思いました。未然に防げたらいいのですが、何か起きたときに、子どもから相談してもらえる親でありたいです。
- ・今日のお話は、親子共に心当たりがあることばかりで耳が痛かったです。親も自分のネットとの付き合い方を見直さないと子どもに偉そうなことを言えないですね。気をつけます。

【主催者の感想】



今回の家庭教育学級は、子どもや保護者の皆さんに感心の高いテーマで開催させていただきました。

私自身にとっても学ぶべき内容も多く、今後は親子で話し合いながら、子どもの手本として自分自身も気をつけたいと思います。

【取材を終えて】

SNSの使用をめぐっては、子どもたちが様々なトラブルに巻き込まれたり、生活のリズムを崩してしまうケースも増えています。

今回の講演会で学んだことを親子で振り返り、各々の家庭でぜひ役立てていただきたいと思います。



美濃市 健康文化交流センター ハロウィンイベント

～乳幼児もお母さんも子育て支援員さんも、共に楽しめるイベントを～

美濃市健康文化交流センターでは、10月21日(月)に、乳幼児親子向けの「ハロウィンイベント」が開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

日々、乳幼児の子育てをしてみえる保護者の皆さんに、身近なところで気軽に親子の交流ができる機会を提供したいという願いのもと、初めて開催しました。

当日は、美濃市社会福祉協議会の子育て支援員(ボランティア)の皆さんに依頼して、子どもたちの遊びや、保護者の悩みや相談も受けていただけるよう計画しました。



【当日の様子】



当日は43組の親子の皆さんが、手づくりのボーリング、輪投げ、絵本の読み聞かせなどを一緒に楽しみ、笑顔で交流されました。

また、ボランティアで参加された支援員の方々も、保護者の方々に声かけされ、悩みや相談などに優しくていねいに対応してみえました。

【参加者の感想】

- ・久しぶりの外出でしたが、支援員さんがたくさんみえたので、安心して遊ばせることができました。とてもよい気分転換になりました。
- ・親子共に楽しかったです。またこんなイベントがあれば、ぜひ参加させていただきます。
- ・こんなにいい児童ルームがあることを初めて知りました。これからも遊びに来たいです。

【取材を終えて】

美濃市健康文化交流センターでは、今後も様々な企画や行事を計画してみえるそうですので、多くの皆さんにご参加いただき、交流の輪を広げていただきたいと思います。